

様式 1

令和〇年〇月〇日

国 土 交 通 大 臣 殿

一般社団法人建設業団体

会 長 国 土 太 郎

令和 8 年度優秀施工者国土交通大臣顕彰候補者について

下記の建設技能者は、建設事業の第一線にあって業務に精励し、常に技能・技術の向上に務め、他の模範となる者でありますので、優秀施工者として国土交通大臣の顕彰を賜われますよう関係書類を添えて推薦いたします。

なお、提出書類に虚偽がないこと及び他の推薦団体の候補者となっていないことを証明いたします。

記

候補者氏名	建設 太郎	（株式会社〇〇建設）
-------	---------	------------

	土木 次郎	（■■■工業株式会社）
--	---------	-------------

	建物 建郎	（株式会社〇組）
--	---------	----------

． ． ． ．

優秀施工者国土交通大臣顕彰審査表

最終的な推薦団体の職員の連絡先を記載（候補者所属会社職員や、傘下団体の職員ではない）。

[illegible]

(注 1) 整理番号欄は何も記入しないこと。

(注2) データ送付の際のファイル名は、「団体名 マスター 候補者名(ひらがな表記)」とすること。

(例：(一社)建設業団体 マスター けんせつたろう)

様式 3-2 の一覧以外の関係資料
については、資料番号を任意で
付してください。

様式 3 - 1 の記入例

(候補者氏名)

推薦基準調書

顕彰基準	推薦事由・根拠	関係資料
1 技能・技術が優秀であること	候補者〇〇〇〇は鉄骨、機械据付、仮設等のとび工に係る工事に幅広く携わり、〇〇資格の取得など自己研鑽を積み、永年の職務従事により培った知識・技能を有しており、特に、下記の技能に優れている。 ・ ・ ・ ・ ・	様式3-2 資料 1
2 ①技術開発、施工の合理化を図り顕著な成績を挙げていること ②建設工事に相当の実績があること	<p>・ △△ホテル新築工事において、荒天が続いたことから工期が厳しい状況にあり、また△△ホテル周辺に〇〇があったことから通常の××での施工ができなかった。候補者〇〇〇〇は通常の××に変えて、新工法の〇〇工法による施工を行うことを提案し、また周囲の環境対策のため〇〇に××を取り付けることを提案し、効率性、安全性の向上に貢献した。当該提案は、□□建設株式会社のQCサークル発表会において優秀提案賞を受賞した。</p> <p>建設機械の設備等の発明・改良、工法の発案・導入・改善、作業上の工夫等候補者が行ったことを具体的に記入してください。詳細や図等は別紙とし、任意の資料番号を付してください。 特に、以下の場合はその旨記載し、証明資料を添付 ・ 工法の発案等が特許・実用新案登録等されている場合 ・ QCサークル入賞等されている場合</p> <p>大型民間建築工事に数多く従事し、〇〇プロジェクトにおいては、〇〇組職長会会長を務めている。</p> <p>これまでに大規模な工事、著名な工事、難度の高い工事、公共性の高い工事等に従事した場合や特別な役割を果たした工事等について記載してください。</p>	資料 2 ～ 5 様式3-3 資料 6
3 後進の指導育成に努めていること	<p>・ 候補者は技能検定補佐委員・技能検定委員として活躍し、その貢献により〇〇県職業能力開発協会より表彰を受けている。</p> <p>・ 候補者は社内の後進に対し、1級技能士の資格のための技能指導を行い、これまでに〇名を合格させた。</p> <p>・ 近年取り組まれるようになった〇〇作業において社内の後進にその作業手順を周知するため作業の標準手順書の作成を行った。</p> <p>これまでの後進の指導育成に関する実績や、行っている指導育成の具体的な内容等を踏まえて記載してください。</p>	様式3-2 資料 7
4 工事施工において安全・衛生の向上に貢献していること	<p>・ 候補者は安全・衛生の向上のため、社内で安全〇〇講習の指導に当たるとともに、日頃から〇〇点検を行い事故の防止に努めている。</p> <p>安全・衛生の向上に関して実際に行っていること等を記載してください。</p>	様式3-2
5 他の建設現場従事者の模範であること	<p>・ 平成〇〇年より毎年ボランティアとして〇〇を行い、地域に貢献している。</p> <p>建設業との関連の有無を問わず、他の現場従業者の模範となることを示してください。 ※「勤務態度良好」などの主観的評価のみの記述はさけ、裏付け資料の添付が可能な内容を記載してください。</p>	様式3-2

様式 3-2 推薦基準調書添付書類一覧 の記入例① (CCUS ゴールドカード保持者・登録基幹技能者)

資格・免許等一覧 (A)		
取得時期	資格・免許名称	資料番号
令和 5 年 7 月	CCUS ゴールドカード取得 (とび)	A-1
平成元年 3 月	職長・安全衛生責任者教育修了 (顕彰基準 4 関係)	A-2
平成 18 年 8 月	職業訓練指導員 (とび科) 免許	A-3

職長・安全衛生責任者教育修了は要記載

候補者氏名 (建設 太郎)

CCUS ゴールドカード取得の旨記載 (他の技能系資格は記載不要)

安全衛生、指導関係の資格は記載する。

資格者証等のコピーに資料番号を付する

(注) 建設キャリアアップシステム (CCUS) ゴールドカード保持者及び登録基幹技能者は、その旨の記載と資格者証の写しを提出すれば、他の取得資格・免許の記載及び資格者証の提出は不要です。

技能競技大会等入賞歴 (B)			
実施時期	大会名称・部門	順位	資料番号
平成 5 年 8 月	第〇回△△県技能競技大会	1 位	B-1

表彰等一覧 (C)		
表彰等時期	表彰等名称	資料番号
平成 5 年 10 月	〇×建設 (株) 安全協力賞	C-1
平成 15 年 6 月	〇〇県建設業協会会長賞	C-2
平成 21 年 4 月	□□建設株式会社永年勤続表彰	C-3
平成 22 年 10 月	〇〇県優秀技能者表彰	C-4
平成 24 年 2 月	△△市感謝状 (消防団)	C-5
平成 27 年 9 月	〇〇県職業能力開発協会表彰状	C-6

賞状等のコピーに資料番号を付する

建設業関係以外の表彰も記載

(注) 建設ジュニアマスター 被顕彰者は上記 C に必ずその旨を記載すること。

指導経験一覧 (D)				
時期		名称	実施機関	資料番号
自	至			
平成 15 年 4 月	平成 18 年 5 月	〇〇組合新規入職者講習講師	〇〇組合	D-1
平成 19 年 4 月	平成 20 年 3 月	〇〇職業訓練校講師 (とび科)	〇〇職業訓練校	D-2
平成 20 年度	平成 25 年度	とび技能検定補佐員	〇〇県職業能力開発協会	D-3
平成 26 年度	平成 28 年度	とび技能検定委員	〃	D-4

委嘱状等のコピーに資料番号を付する。

様式 3-2 推薦基準調書添付書類一覧 の記入例② (CCUS ゴールドカード保持者・登録基幹技能者以外)

資格・免許等一覧 (A)			
取得時期		資格・免許名称	資料番号
昭和 58 年 4 月		玉掛け技能講習	A-1
昭和 60 年 4 月		ロープ高所作業特別教育	A-2
平成元年 3 月		足場の組立て等作業主任者技能講習	A-3
平成 3 年 10 月		職長・安全衛生責任者教育終了	A-4
技能、技術、安全衛生、指導関係のいずれの資格も記載する。		とび（とび作業）1 級技能士	A-5
		2 級建築施工管理技士	A-6
		職業訓練指導員（とび科）免許	A-7

職長・安全衛生責任者
教育修了は要記載

候補者氏名（ 建設 太郎 ）

特別教育の修了等は能力評価のレベルを確認するのに必要な場合のみ記載

資格者証等の
コピーに資料
番号を付する

(注) 建設キャリアアップシステム (CCUS) ゴールドカード保持者及び登録基幹技能者は、その旨の記載と資格者証の写しを提出すれば、他の取得資格・免許の記載及び資格者証の提出は不要です。

技能競技大会等入賞歴 (B)			
実施時期	大会名称・部門	順位	資料番号
平成 5 年 8 月	第〇回△△県鷹技能競技大会	1 位	B-1

表彰等一覧 (C)			
表彰等時期	表彰等名称		資料番号
平成 5 年 10 月	〇×建設（株）安全協力賞		C-1
平成 15 年 6 月	〇〇県建設業協会会長賞		C-2
平成 21 年 4 月	□□建設株式会社永年勤続表彰		C-3
平成 22 年 10 月	〇〇県優秀技能者表彰	建設業関係以外の表彰も 記載	C-4
平成 24 年 2 月	△△市感謝状（消防団）		C-5
平成 27 年 9 月	〇〇県職業能力開発協会表彰状		C-6

(注) 建設ジュニアマスター 被顕彰者は上記 C に必ずその旨を記載すること。

指導経験一覧 (D)				
時期		名称	実施機関	資料番号
自	至			
平成 15 年 4 月	平成 18 年 5 月	〇〇組合新規入職者講習講師	〇〇組合	D-1
平成 19 年 4 月	平成 20 年 3 月	〇〇職業訓練校講師（とび科）	〇〇職業訓練校	D-2
平成 20 年度	平成 25 年度	とび技能検定補佐員 委嘱状等のコピーに資料 番号を付する。	〇〇県職業能力開発協会	D-3
平成 26 年度	平成 28 年度	とび技能検定委員	〃	D-4

候補者氏名 ()

個別施工に対する表彰や、工事対象が文化財等である場合などは備考に記載

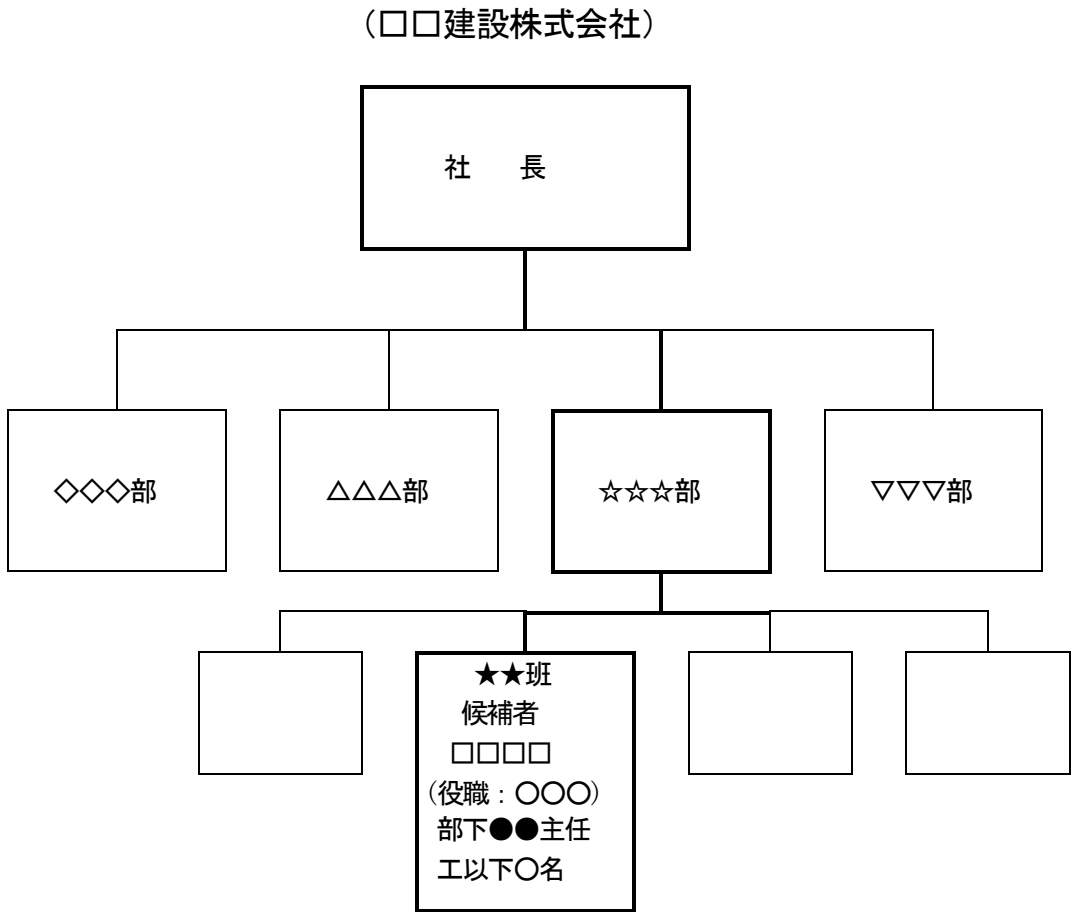
(注) 候補者の代表的な工事を記入する。

会 社 概 要 調 書 ※個人事業者は作成不要

令和●●年●●月●●日 現在

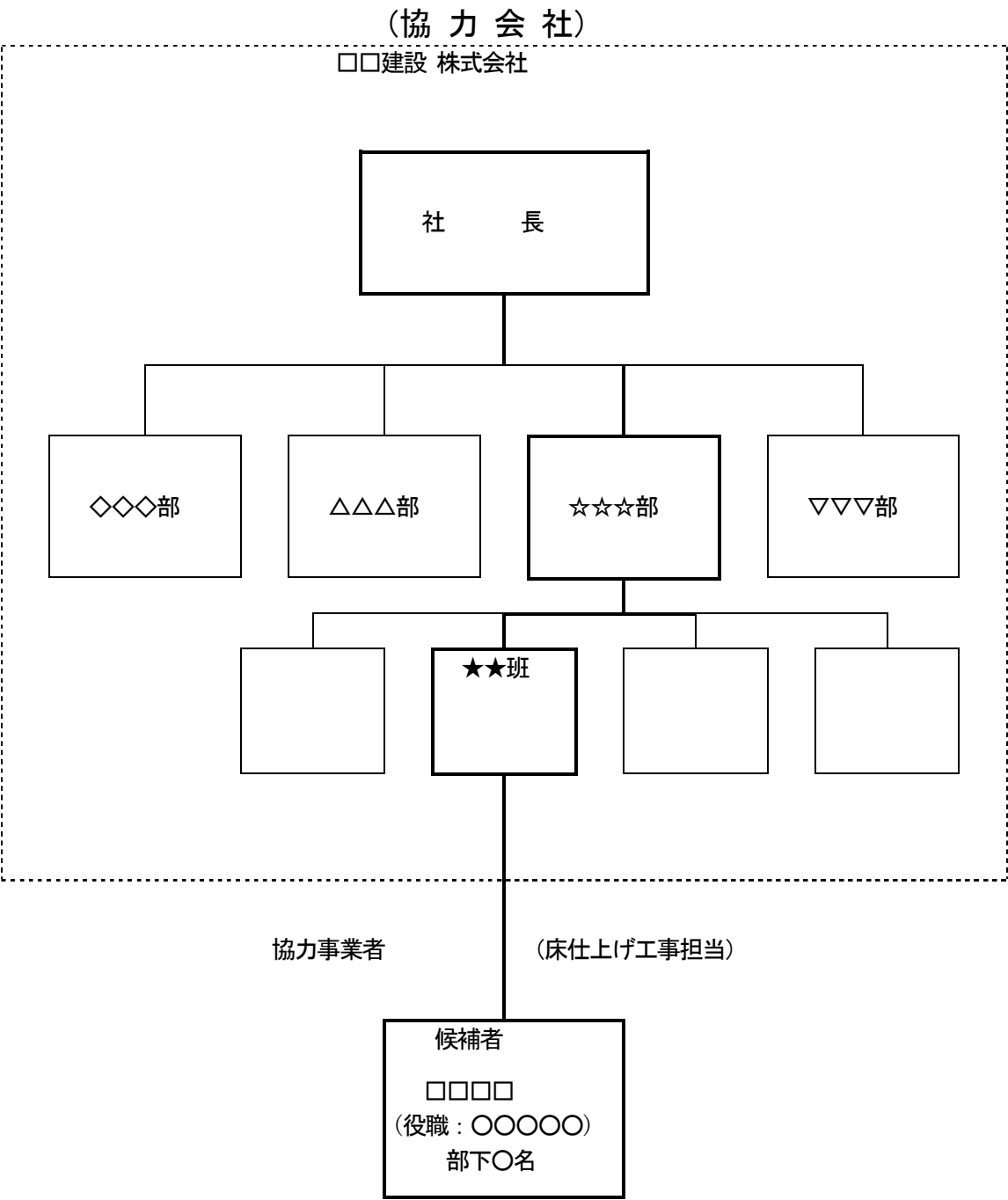
会 社 名	□□建設株式会社		
設 立 年 月 日	昭和55年7月1日		
資 本 金	30百万円		
代 表 者 名	代表取締役社長 ○○ ○○		
役 員 数	3名 (監査役を除く)		
従 業 員 数	20名		
支 店 所 在 地	△△県に2箇所、××県に1箇所		
直近1年間の業績	完成工事高	500百万円	自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日
営 業 種 目	<div>1 とび・土工工事業</div> <div>2 建築工事業</div> <div>3 土木工事業</div> <div>1位は、様式-2の「2. 所属会社に関する事項」の「業種」と一致</div> <div>建設業法上の許可業種(29業種区分)のうち、直近の決算における完成工事高の多い順に上位3業種まで記入。</div>		
備 考	会社の変更内容等 昭和25年5月 とび工事業□□創業 昭和40年4月 □□工業に名称変更 昭和55年7月 □□建設株式会社に組織変更		

組 織 図
(候補者が建設会社に所属している場合)



(注) 候補者の所属する位置を必ず明示すること。
組織の部署を図示し、候補者に関する系統は太字で表すこと。
候補者の部下数も記入すること（部下がない場合は「部下なし」と記入）。

組 織 図
(候補者が個人事業者の場合)



(注) 候補者の所属する位置を必ず明示すること。
組織の部署を図示し、候補者に関係する系統は太字で表すこと。
候補者の部下数も記入すること (部下がない場合は「部下なし」と記入)。

様式 6 無事故証明書及び刑罰等確認書

候補者氏名 建設 太郎

生年月日 昭和37年 10月1日

無事故証明書

上記の者は、建設現場業務において常に安全・衛生に万全を期しており、30年5ヵ月間（平成7年10月～令和8年2月）にわたって、自己責任上の事故をおこしていないことを証明いたします。

令和〇年〇月〇日

（記入例1）〇〇建設株式会社
代表取締役 × × × ×

（記入例2）一般社団法人〇〇県△△業協会
会長 ▽▽ ▽▽

刑罰等確認書

刑罰等の有無

☒ 無 ・ ☐ 有

上記事項に相違ないことを確認しました。

令和△年△月△日

一般社団法人建設業協会
会長 ▽▽ ▽▽